

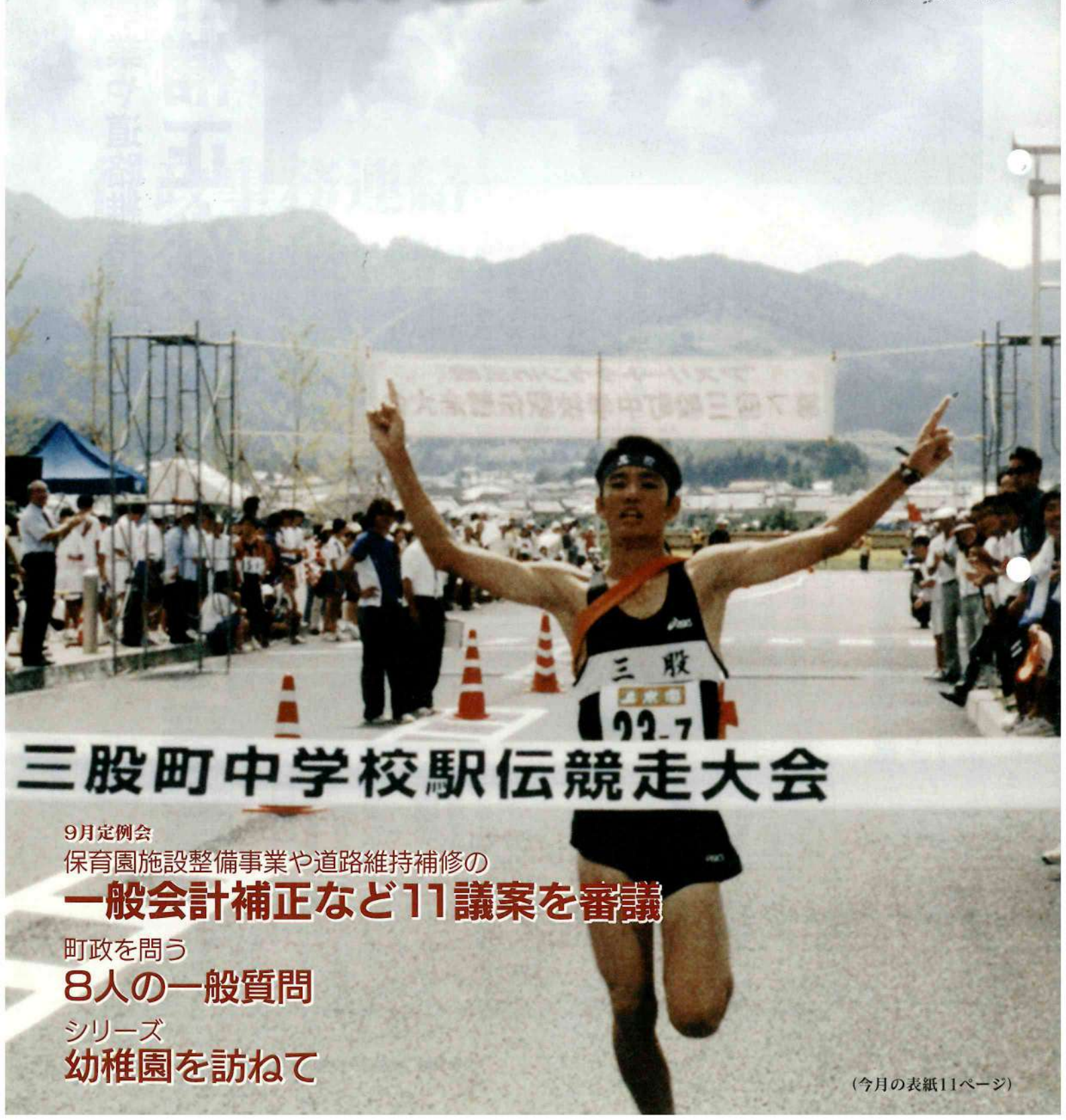
よい人、よい町、よい政治、議員が編集した手づくり広報紙

こんにちば 議会です



No.41

平成17年10月15日発行



三股町中学校駅伝競走大会

9月定例会

保育園施設整備事業や道路維持補修の

一般会計補正など11議案を審議

町政を問う

8人の一般質問

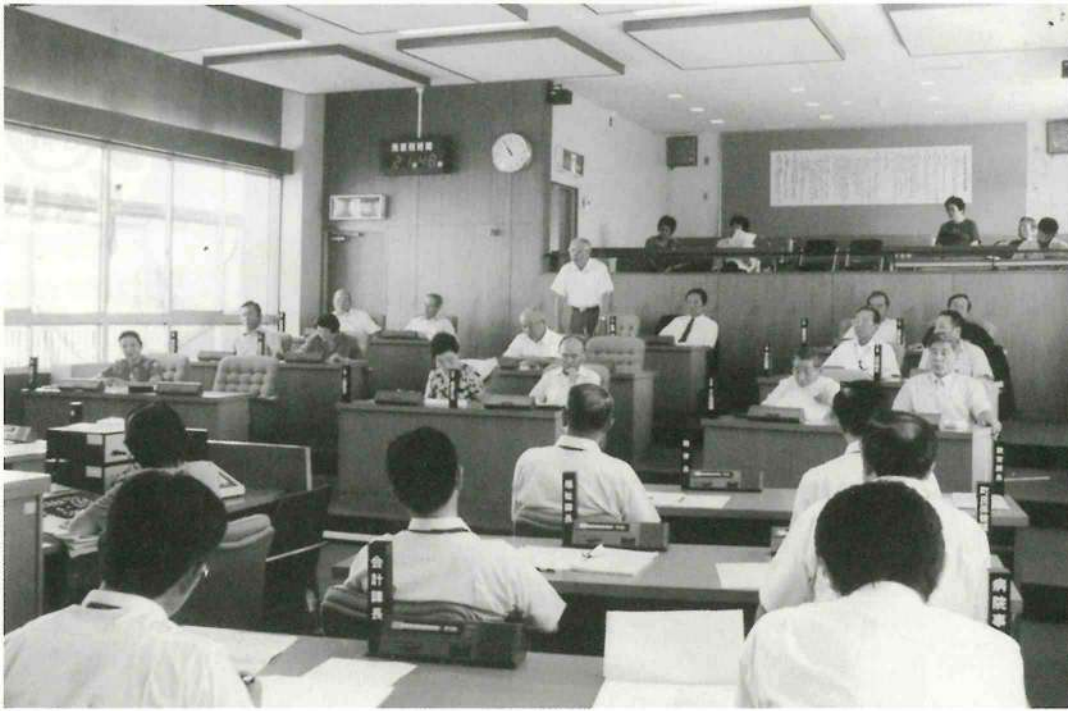
シリーズ

幼稚園を訪ねて

(今月の表紙11ページ)

保育園施設整備事業や道路維持補修の

一般会計補正など11議案を審議



9月定例会は、9月9日から9月22日までの14日間の会期で開かれました。本定例会では、平成16年度の町立病院と水道会計の決算認定や介護保険予算補正など11議案と1諮問、1意見書、1決議、1請願（継続審査）について審議しました。

その結果、すべて原案通り可決しました。

補正の主な事業と予算

一般会計

民生費

保育園施設整備事業補助金

2千261万1千円

土木費

道路維持補修工事

1千500万円

中原団地周辺整備事業工事

3千204万1千円

今回の一般会計の補正予算額は、2千336万5000円で、今年度の予算の総額は歳入歳出それぞれ82億2千969万1000円となりました。

介護保険特別会計

保険給付費

特定入所者介護サービス費

5千048万円

特定入所者支援サービス費

177万7千円

諮問

諮問第1号

人権擁護委員の推薦について

去川政雄氏を推薦することに適任としました。

教育委員会委員の任命について

福山陽子氏の任命について

同意しました。

意見書

意見書案第5号

義務教育費国庫負担制度の

堅持に関する意見書

可決

決議

決議案第2号

森林環境税の早期創設に関する決議

可決

この意見書と決議は、すみやかに関係機関へ送付しました。

請願

請願第1号（継続審査分）

新馬場河川敷公園建設に関する請願

採択

「岩下橋」の早期 架け替えを願って

議員一同整備促進期成同盟会設立

本町の経済発展に寄与している都城東環状線の「岩下橋」や近年、交通需要の高まった島津紅茶園・切寄線の整備促進を図るため、積極的な活動を行うことを目的として、町議会議員一同による整備促進期成同盟会を設立しました。

事業としては、主に2路線に関係する機関に対する請願、陳情を行って整備促進を図ることです。



岩下橋の現状



島津紅茶園・切寄線

〈豆知識〉

補正予算とは

予算成立後に生じたいろいろな事情に基づき、今ある予算に追加や減額をした予算のことです。

当初予算は、1年間に必要な一切の収入・支出を見込んで編成する年間予算ですが、補正予算は、年度途中において、制度の改正、災害の発生など、社会経済の変化によって、財源の見積りに誤差が生じたり、または予算の執行過程で過不足が生じ、より早く市民の多様なニーズに応え、安定した財政運営を図るために行われるものです。また、現在は、当初予算編成の時には、次年度の国・県の補助採択基準の見通しがないことなどから、年度途中で補正予算を組まざるを得ない状況におかれ、年4回の定例議会ごとに提出することが通例となっています。

一般質問

9月議会の一般質問は、9月20日・21日に行われ、8人の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

スタートした 行財政改革の成果は

黒木 孝光議員

町長 今後の財政運営にも大きな効果を期待できる



問 4月より「事務事業の見直し」課、係り、人員配置、各委員会の定数など「組織、機構の見直し」により改革がスタートした、その成果は。

町長 行政の効率化、経費の削減、合理化を進め、議員の定数、農業委員定数の見直しに取り組み、収入役の未設置や町長、助役、教育長の給与カット、公用車の集中管理を行った。改革の成果は、今後の財政運営にも大きな効果を期待できる。

問 11の課設置で各課に重要課題に対応する対策監を配置し、税や、住宅、水道など各使用料の滞納金徴収方策と、その成果は。

町長 税金、使用料、保育料、保険税等、全庁的滞納金徴収方策として、徴収対策会議を設置し、更に税務財政課に、税の収納対策監を配置し、収納対策会議を通し、滞納整理推進策、滞納防止策、収納対策を強化、納付の促進に努め滞納者に対する行政サービスのあるあり方についても協議し、実施の方向で検討中です。

行政サービスについては、私をはじめ、職員が町民全体の奉仕者として、迅速な対応と、懇切丁寧な対応を心掛けるよ

うにしている。サービス低下には、職員指導に努める。
町長選への出馬は。

問 町長の任期は一年後で、行財政改革途中での任期切れとなるが首長選挙への対応は。

町長 本年度を行財政改革元年と位置付け、抜本的な改革に取り組んでおり、今後長田の水道事業、三股中学校の大規模改修事業など、大きな公共事業が山積しており、三股町らしさを実現できるかの重大な時期であるので、来年三度目の出馬をする決断をした。

本町の公共施設の アスベスト使用は

問 大きな社会問題となっているアスベスト問題で、本町に於ける石綿建材を使用している公共施設の現状は。

町長 8月12日付で石綿使用の実態を調査した。調査は職員の見視による調査で、結果は、建材の「吹き付け」によるもの3カ所、「スレート使用」13カ所、「石綿建築材使用」15カ所、石綿断熱材がむき出しなど、アスベストが疑われるので、今後専門機関に調査依頼し対応する。

庁舎内外の清掃は職員で出来ないか

大久保 義直 議員

町長 財政的にも厳しく、今後十分に協議する



問 本町は合併しないで自立の道を選択して、行財政改革に取り組んでいる。自立の上からは歳入を増やし歳出を減らすことが課題と考えている。

庁舎内外の清掃は全職員で、自分達の働く職場である。NHKテレビで福島県矢祭の紹介が放映されました。自立後は庁舎内外の清掃は全職員で取り組んでいる。本町も矢祭町のように実施して行く考えはないか。

町長 平成16年度の庁舎内外の清掃委託料は621万円であり、財政的にも厳しい状況であるので、今後十分に協議していく。

問 矢祭町が実施しているので、本町も職員の理解と協力を得て、前向きな姿勢で取り組んで欲しい、また、職員で出来ない部分は委託してやる方法もある。経費節減のため検討していただきたい。

総務企画課長 矢祭町の実態は分かりませんが、職員に出来ること出来ないことがあります。今後十分に協議していきたい。

安心・安全な農道整備を望む

問 農道整備は計画的に進められてはいるが、ある地域においては遅れているようにも見受けられます。本町の基幹産業は米作で、後継者も少なく、高齢者が精一杯の努力で農業に従事している現状だと思っている。実は山之口町と三股町を通じる一本の田上地域（方境農道）があり、山之口町は合併特例債で舗装工事をするので、両町と一緒に舗装工事を実施する考えはないか。



方境農道(田上)

町長 農業経営の向上、農業の効率化を図るため、年次的に予算の範囲内で整備している。今後も農家の要望を踏まえて有利な補助事業及び有利な起債を活用して整備していく。

問 農道舗装は農家の皆様が安心・安全で農作業が出来る対策を進めて行くべきだと思うが。

産業振興課長 農道舗装は4メートル未満で29.4%が整備されている。本町の3カ年実施計画の中で、事務事業評価幹事会で協議し、田上方境も十分検討していく。

町づくりは住民 全体の取り組みで

的場 茂議員

町長 行政と町民との協力・協働の 視点に立って推進していく



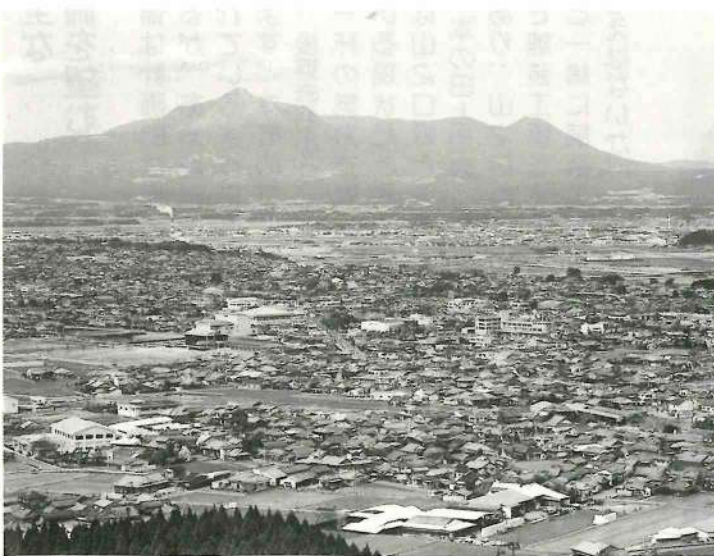
問 自立の道を選択した三股町は、三位一体改革の中で、どのような町を創り出し進もうとしているのか、具体的に方向性を示し、町民が安心でき、期待のもてる町づくりに立ち上がるよう取り組むべきでは。

町長 国の「三位一体改革」によって、財政面において、厳しい状況となっていることから、自らの権利、責任、財源で賄う割合を増やし、真に住民に必要な行政サービスを行うために、行革に取り組んでいる。

町づくりの方針は、第四次総合計画の基本構想と基本計画に基づきながら、実施計画によって、計画的な町づくりに取り組んで来たが、社会情勢は変化変容しており、財政面の厳しさもあって、総合計画の後期5カ年計画を見直す時期と重複しているので、見直しを進めている。

計画の策定にあたっては、住民2500人への意識調査（アンケート）を実施し、事務事業等について意見を聞き、計画の素案については、総合計画審議会を組織して、計画を策定していく。

町づくりは、行政と町民との協力・協働の視点に立って



推進していく考えである。

問 行政改革を先行しても、町民の理解の下での町民全体の取り組みがなければ、三股町の町づくりは出来ないと思うが。

町長 交付税が、見直しによって減少し、更に国・県等の補助金も減少している状況から、歳入の減少によって、当然歳出も減額せざるを得ない状況であり、最少の経費で最大の効果を得るような改善でなければならぬ。これまでの事

務事業を評価しながら、行政運営・町づくりに努めていきたい。

行政改革は、行政と住民一体となって見直しに当り、理解を得なければならないと思う。

改革は、地区住民の代表者で構成している（行政改革委員）で意見を聞き、取り組んでまいりたい。また、理解を求めるために、公民館長会議等で、意見を聞いて、住民への取り組みは、広報等で理解と協力を得て、町づくりに努力してまいりたい。

高齢者、 増税の影響は

問 政府は今年1月から所得税の老年者控除廃止と公的年金控除の縮小を実施しました。

今回の増税で本町では所得税、住民税が17年度と比べ18年度以降どの位増税となるのか試算額を伺いたい。

町長 今回の税制改革で高齢者の負担増の問題がでてくる。これは全国的な深刻な問題として捉えている。

税務財政課長 65才以上の高齢者の内、住民税課税は691人で7125万円である。税法改定で18年度は課税者が17年度比721名増の1412人で総額1億2751万円で、5626万円増収の見込み。

所得税は17年度比721名課税者が増え、5663万円の増税となる見込みである。

問 国保税・介護保険料への影響もあるのではないか。

税務財政課長 所得割課税対象者が147名増え、17年度比1632万円余増税となる。

福祉課長 住民税非課税の介護保険料は第2段階だが、課税になると第4段階になり年

増税路線からどう 町民生活を守るのか

上西 祐子議員

町長 今後、町村会で問題提起していきたい



24600円の負担増になる。対象者は721名見込まれる。

問 非課税から課税者になることによって受けられなくなる福祉制度は何があるか。

福祉課長 老人福祉電話事業、家族介護医療金支給事業、介護用品支給事業、NHK受信料減免事業、4つの事業があり、145人位影響がある。

問 増税で町民全体では1億円以上の負担増になる。町民の暮らしと福祉を守る立場から、町独自の軽減策や福祉施策の充実をすべき考えはないか。

町長 負担増にかかる軽減策は考えていない。今後、町村会で問題提起していきたい。

文化会館の敷石損壊の 調査や保証は

問 文化会館北側の敷石に使用されている煉瓦が、多数、欠けやひび割れがある。完成後4年しか経っていない公共工事でこれだけの損壊が生じるのはおかしい。煉瓦に欠陥がなかったか。手抜き工事はなかったか。調査する必要がある。また保証期間はどうかになっているのか。

町長 県工業技術センターに煉瓦の品質調査を依頼した。報告によると規格を満たしており市販の煉瓦と同等の材質を有していると回答があった。また施工面も掘削調査の結果、問題はなかった。今後、佐賀県の窯業技術センター等において調査していきたい。



特産品づくりや 遊休農地対策は

中石 高男議員

町長 多品目な特産品づくりに努めたい



問 現在全国の農家戸数は、農水省の統計では342万戸で1990年以來10%以上の減少で、農家人口は約1500万人強で12.9%減少し調査開始以來最大の落ち込みである。さらに高齢化が進み、ここ5年間で農家人口に占める65才以上の高齢者の割合も、25%以上で4人に1人となっているが、本町の場合どのような比率になっているか。なお、高齢化が進み、後継者不足から労働力の低下により、耕作放棄地が増大しているが、支援策として特産品の一品運動を展開する考えはないか。また遊休農地対策として、各地で農地パトロールが行なわれているが、行政としての考えは。

町長 11年に特産品づくり協議会を設立し関係機関に呼びかけたが、施設設置等資金不足により、今だに普及拡大に至っていない。今後、多品目を安定的・特長ある特産品づくりに努めていきたい。

産業振興課長 65才以上の農家人口は、1475名で農家人口の33%となっている。遊休農地対策の農地パトロールも検討する。

早急な農道舗装を

問 年寄り農家の大型機械の運転事故防止のうえからも、農道の舗装整備を早急にやるべきでは。

町長 農道については、年次の計画的に予算の範囲で行っているが、今後も農業の効率化に努め整備に努力したい。

職員の安全運転指導は

問 最近公用車の交通事故がよくみられるが、どのような指導がされているか。

町長 公用車の交通事故が年間2〜3件発生しており、朝礼の時や研修会で事故防止の講習等を行っているが、今後、さらに職員の交通事故防止に傾注してまいりたい。

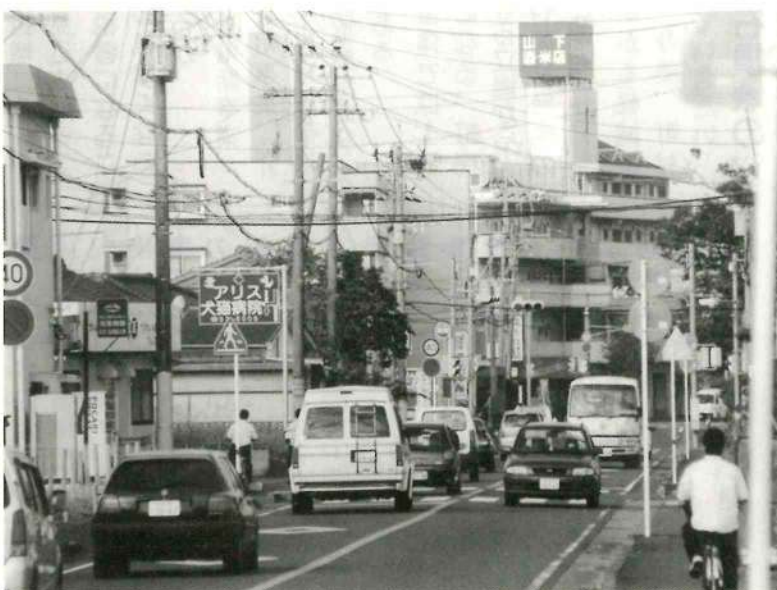
課長 現在も安全研修を行っているが、今後も事故した本人が町長と面接決裁を受けるなど、

交通安全の意識の高揚に努めていきたい。

早水交差点の 右折帯設置を

問 都三道路の早水交差点が右折帯がないため渋滞して、三股からの通勤者が困っているが、対策を働きかけてほしい。

町長 都城市の担当課と町の主管課と打合せをして、重要な路線でありますので、速やかに要望してまいりたい。



混雑する早水交差点

駅前遊休地利用は

問 駅前広場の遊休地については。平成12年に町民を交えて駅前周辺等開発推進委員会を立ちあげ、何回となく会議を重ねてきたにもかかわらず、今だに何の手だてもない。自立でいくという三股町。徹底して無駄を省くという気構えが必要である。町民の財産であるので、本気で取り組んでいただきたい。

町長 町営住宅の建て替え用地とか、処分するとか。一番適性な方法で考えていく。

問 平成6年〜7年にかけて駅前広場を購入しているが、目的は、何だったのか。

都市整備課長 代行用地として、土地開発公社が独自で買ったものであり、これといった目的はなかった。

問 駅の駐車場に放置車があるが把握しているのか。

都市整備課長 理事会の後、現場で確認している。

問 このままでは、放置車が増えるのでは。何か手だてが必要と考えるが。例えば、有料駐車場にして、少しでも町の負担を軽くするとか考えられないのか。

町の遊休地利用の手立ては

齊藤 ちづ子議員

町長 はっきりしたものがなく模索している



都市整備課長 現在は非課税であるが、有料化にすると課税対象になる。

問 駅前周辺等開発推進委員会に町民を交えて、町民の声を反映していくことが、大事だと考えるが。

町長 ささまざまな角度から見当していききたい。委員会は、今は続いている。

長田の遊休地への考えは

問 長田の島津山林事務所隣の空地について、どのように考えているのか。

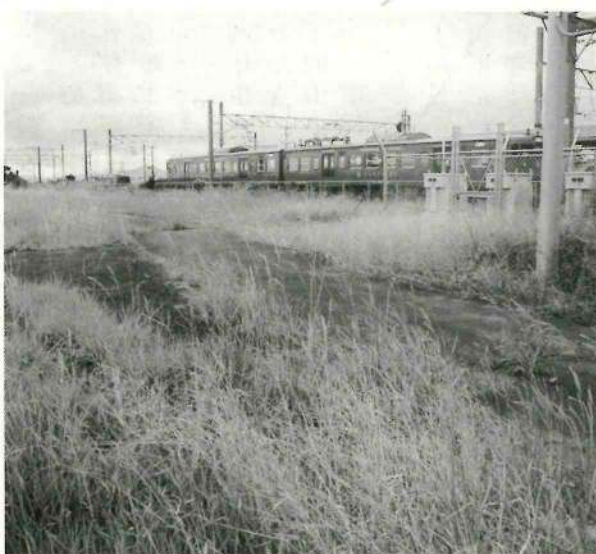
町長 維持管理を考えると、処分するべきかどうか、方向性を考えている。

都市整備課長 長田地区は、陶芸家で、アトリエロードをつくっている。できればその関係の方々に買い取っていただきたい。

長田の水道事業のビジョンは

問 6億円の費用をかけての水道事業を展開するのであれば、長田地区に何かビジョンがあつて然るべきではないのか。

町長 水道事業を整備すれば長田地区が活性化すると思う。現在は、これといったはつきりとしたものはない。模索しているところである。



駅周辺の遊休地

薬物乱用防止の方策は

池田 克子議員

教育長 年次的な警察の指導や講話を実施している



問 薬物乱用の事件が日常的に起っている。「薬物乱用は体と心を台無しにしてしまう絶対ダメ!!」と訴える必要がある。小・中学校での薬物乱用防止教育について伺う。

教育長 中学校は毎年一回一年生を対象に警察の指導のもと学習。小学校は五・六年と父兄に警察官による講話やビデオを活用している。

問 薬物乱用防止キャラバンカーは、薬物乱用に染まっていない青少年に薬物乱用防止に関する正しい知識を啓発するために配置されている。小・中学校でこのキャラバンカーの活用と講演会を実施しては。

教育長 キャラバンカーの要請が出来れば、実施の方向で検討したい。

”メダカの里”作りを手伝って

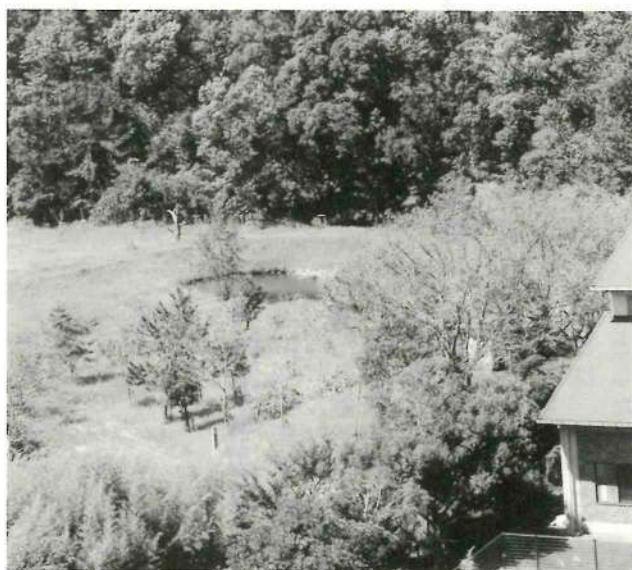
問 総合型環境学習施設である「エコフィールドみまた」は、持続可能な環境を維持創造していくための「循環」「共生」「参加」を学べる場所である。このエコフィールドを、「学校」「一般」「外部視察」それぞれどれ位活用しているのか。

環境水道課長 「一般」の活用は出入自由のため、把握していない。「外部視察」は、平成14年から本年まで8団体の利用があった。

教育長 小学四年生がゴミ処理場やリサイクル場の環境学習を実施した。梶山小が平成15年度エコフィールド公園でお別れ遠足を行った。

問 エコフィールドで自然とふれあい、視覚的に認識出来る体験学習を各学年スケジュールを組んで実施しては。

教育長 平成17年度は、各学校で利用についての計画が立てられている。



エコフィールド

問 環境問題が世界的に危惧されている中で、環境教育に役立ててほしいと小・中学校他各所に、「メダカ」を提供されている有志の方が町内におられる。今では希少価値の高くなった「メダカ」を、エコフィールド内にある「せせらぎ水路」という自然環境の中に放流し、「メダカの里」作りの第一歩としてはと提案されているが。

環境水道課長 協力が得られれば、受け入れたい。エコフィールド内に限らず「メダカ」が住める環境作りに努力したい。

問 町の財政改革について、行政事務連絡交付金削減案に反対である。自治公民館は、住民自治の場であり、地域づくりの組織的活動、及びコミユニティ参加を図る大事な拠点である。各地区が工夫をかさね独自発展を努力されている現在において、行政として支援すべきものであると思うが、交付金のあり方について配慮願いたい。

町長 公民館長会議でも、強く反対の意見があり、日頃より皆様に、行政事務の周知徹底に協力いただいているので、再度検討し、町の補助金審議会で決定したい。

町指定金融機関の変更は

問 指定金融機関について、現在JA都城三股となっているが、長田、宮村、夢池の各出張所が閉鎖の時に、はたして町の指定金融といえるのか、また小泉改革は、農協構造改革を視野に入れているときが、町民サービスにつながっているのか、この先、単独町としてとるべき姿勢はどのようなのか。

町長 公金の取り扱いにおいて、法令と定めにより、口座振り込み等、普段利用される金融

行政事務連絡 交付金への配慮を

重久 邦仁議員

町長 検討して、補助金審議会で決定する



機関でできるよう、出納サービスが充実してきているところである。指定金融については、現在変更の考えはない。

今回の表紙



10月1日三股町ふれあい広場にて開催された第7回三股町中学校駅伝競走大会三股中Aゴールシーン。

一口メモ

指定金融機関とは？

町が公金の収納や支払いの事務を行わせるために、議会の議決を経て指定した金融機関で、1つの法人だけと規定されている。



学校法人 相愛学園
第一幼稚園

青 少年の問題行動や非行の増加傾向の世相を憂い、諸悪の根源は幼児教育の貧困さにあるとして、昭和56年1月14日に三股町に学校法人相愛学園 第一幼稚園が誕生しました。爾来、皆様からたくさんの愛とご支援をいただき、今年はおかげさまで『25周年』を迎えます。この間、1200有余名が卒園し、今年度は都城・北諸県郡内の幼稚園では園児数が一番多くて、161名が元気いっぱい登園しています。

貴幼稚園の幼児像は

- ・こころゆたかな やさしい子
- ・げんきいっぱい がんばる子
- ・よくかんがえ くふうする子

全体的には徳・体・知のバランスのとれた保育を心掛け、かつ、子ども一人一人の発達段階や個性・特性を大切にしています。

貴園の特色は

幼稚園は、就学前の子ども達が始めて出会う学校です。豊かな楽しい遊びや学びを通して、変化の激しい長寿社会をたくましく生きる優しい心や強靱な体の基礎・基本を育てています。建学の心『相愛』を旨として、特に、今年度は『生きる力』の基盤として、『元気・勇気・笑顔』を中心に据えて励んでいます。

バザーのお楽しみタイムで

園長「命を大切にするにはどうすればいいのですか？」
4歳児「好き嫌いをしません。」

5歳児「何でもよく食べます。」
「……………」
3歳児「ピーマンを食べます。」
園長「えーっ。どうして？」
3歳児「ピーマンは、血をサラサラにします。」
園長絶句の後、「すごーい！」

園長 福重 晴夫
電話 52-3893



「かまきりのたまごみつけたよ」

人と自然の共生！
ふれあいの森で

議会広報編集特別委員
東村 和往



最大の努力を
していかないと
心あらたに
した次第です。

猛暑の連日であったこの夏もようやく終わりが近づいたよう
で、朝晩は肌寒く感じる今日
の頃です。田んぼを見渡せば一
面の黄金色、昨年の文化会館前
から場所を変えて植えられた5
色の稲による絵と文字が上米公
園下に鮮やかな模様を描いてい
ます。今年は豊作かと思われた
矢先、ウンカが各所に広がり、
農家の方々はあわただしく稲を
刈る事態となりました。自然を
相手の仕事は、願い通りにはい
かないものだと思いが知らされま
す。また、特筆すべきはこの9
月初めに襲来した台風14号によ
る土砂崩壊で、残念なことに本
町において、尊い人命が奪われ
ました。亡くなられた方には心
からお悔やみを申し上げますと
ともに、被害を被られた方々に
お見舞い申し上げます。この教
訓をもとに、早めの避難と危険
箇所の再点検
を進める必要
性を改めて痛
感しました。
議会としても
最大の努力を
していかないと
心あらたに
した次第です。

MIMATA GIKAI
編集後記